

データ・テック  
イーソーコと  
セミナー共催

データ・テック(田野通保社長、東京都大田区)は10日、イーソーコグループと協力し、「日本再興戦略(物流版)」と題したセミナーを開催。

「ドライブレコーダーのパイオニアが考える物流の安全」今まで見えなかった部分の「見える化」とは」をテーマに、田野社長はドライブレコーダーの開発者として「事故

田野通保社長



を分析し、どういう状態の時に事故が起きるかを考えた。ジャイロ

センサーをはじめ必要とする技術を追加して入れていった結果、今のドライブレコーダーができた」と説明。さらに安全確保のため守らなくてはいけない動作などもチェックし、それらが守られているかを画像の解析で一目瞭然にわかる機能もつけ「見える化」を促進。セイフティマップや発進加速度をグラフ化し

た、ふんわりアクセル度合のほか、フォークリフト用では、フォークリフトならではのチェックポイントを加えたことなどを説明。

イーソーコグループからは大谷一会長が講演。荷主のニーズの移り変わりと倉庫・物流施設の変遷、倉庫の状況などを解説。倉庫業の現状と見通しを含め、イーソーコグループが推進する物流不動産ビジネスの導入を勧めた。

このほかSCMコンサルタントとして活躍するコマツ物流前社長の田村耕司氏、ロジスティクス・トレンド代表の花房陵氏も講演。

聴講者は約2000人が集まった。(小澤 裕)